

ガレットイ先生失言録

昆虫

である

世界最大の

池内 紀

Osamu Ikeuchi

編訳

白水社

象は

象は世界最大の昆虫である Das größte Insekt ist der größte Insekt ist der

昆虫
である

世界の最大の

象は

池内 紀
Osamu Ikeuchi
編訳

白水社

象は世界最大の昆虫である
ガレットイ先生失言録

訳者 © 池内 紀
一九九二年五月三〇日第一刷発行
一九九二年七月二〇日第二刷発行

発行者 藤原 一 晃

印刷者 山田 隆

発行所 株式会社 白水社

精興社印刷・黒岩製本

ISBN 4-560-04289-6

Printed in Japan

訳者略歴

一九四〇年生

一九六五年東大大学院修了

ドイツ文学専攻

東大教授

主要著書

「ウィーンの世界」

「天のある人」

「開化小説集」

主要訳書

「カフカ短篇集」

「J・アメリカ」

「罪と罰の彼岸」

「J・ロート」

「蜘蛛の巣」

東京都千代田区神田小川町三の二四
電話 営業部〇三(三三)七八二一
編集部〇三(三三)七八二一
振替 東京 九一三三三二八
郵便番号 一〇一

象は世界最大の昆虫である

ガレットイ先生失言録

Das größte Insekt ist der Elefant
Professor Gallettis sämtliche Kathederblüten

装
丁
〃
田
淵
裕
一

目次

古代の世界 7

歴史学 59

自然地理、ならびに政治地誌学 95

天文学と物理学 137

数学、幾何学、算術 145

年代記 151

博物学 155

人類学 165

言語学と文学 169

授業風景 175

私事 195

経験と省察 201

あとがき 209

古代の世界

神々と英雄たち

1

この地上に現われた最初の人類は住居をもたなかった。ために、一人残らず、けものに食われてしまった。

2

ただ一人を除いて、人類はことごとく大洪水に吞まれた。ただ一人——つまり、デウカリオンである。並びに女房のピュラだ。

3

神は不死である。かかるがゆえに、死はない。

4 ローマ人の神々は食事にも同席した。

5 神々の食べたのが、いわゆる酒である。

6 女神は女であるとはいえないが、男であるともいえない。

7 雷神といえども冬のあいだは轟かない。轟くまでもないからだろう。

8 プロメテウスは神をないがしろにしすぎるとユピテルが非難したとき、
プロメテウスはこう答えた。「ユピテル君、きみにいっておきたいのだが、私は神々など屁とも思っておらんのだ！」

9

ディアナは古いローマの女神である。狩りとなんの関係もない。だから射撃とも無関係だ。

10

古代人のもとでは、神々は外出の際、馬車に馬をつけたものである。

11

女神プロセルピナはローマの男神である。

12

一度入ると二度と再び出られなかった——あの世からは。

13

月桂冠は葉っぱにすぎない。だが、アポロンにとっては神聖な葉っぱである。

14

きづたは厳密にはぶどうの葉とは別物である。ぶどうの葉は、バッカス

神が花冠をつくる葉っぱだ。

15 古代の牧羊神は山羊の足をもった人間であった。

16 ^{ペガサス}天馬を乗りまわすこともできようが、あれはすこぶるのろまな馬である。

17 ラピテウスとケンタウロスのちがい*^{*}といえば、せいぜいのところ、ケンタウロスが四本足であるのに対し、ラピテウスは二本足だということぐらいである。

18 テュンダレオスは父^{とて}なし子であった。それというのも、だれにも一人の父親がいるとは限らないからである。

ギリシャ人は英雄を神とあがめ、神人あつかひしたものだ、これはギリシャ時代にみられることであって、ローマ時代の慣習だなどは、だれも主張していない。

ホメロスの描いた勇士たちは、出かけるときいつも泰然自若としている。

ギリシャ人たちは口々に叫んだ。「殺し合いをさせるがいい。殺されそこねた者にヘレナをやろう！」

さて、パリスが死ぬと——パリスといえども死んだのである。

*ケンタウロスは馬身で、腰から上が人間の怪物。テッサリアに住み、同じくテッサリアの山中に住むラビテュス族と支配権を争った。

**トロヤ王プリアモスの子。弓に巧みで不死身のアキレウスを射倒した。

23

オデュッセウスが女神アテナを求めたとき、アテナはオデュッセウスに歩み寄って、こうきいた。「ねえ、いったい、どうしてもほしいの？」

24

予言者モプソスは、死後、占い師になった。

25

ピエリアといえはオリンポスの山麓の細長い土地の名前であるが、どうもぴったりの名前ではない。

26

ユーノーは嵐を起こしアネアスを滅ぼそうと謀ったが、失敗した。アネアスがローマ建国の祖であることを忘れていたからである。

27

アピュドスの青年レアンドロスは、夜な夜な、海を泳ぎ渡り、恋人へー